

2018 年度外国語学部 FD 活動方針・活動計画

(英米学科、スペイン・ラテンアメリカ学科、フランス学科、ドイツ学科、アジア学科)

外国語学部では、2018 年度においても、FD 研修会および学部自己点検・評価委員会懇談会を軸にして、FD 活動を進める。

2017 年度の FD 研修会では、英語による授業の運営方法としてのアクティブ・ラーニングを扱ったが、活動方針・活動計画に掲げた反転授業については考える機会をもつことがかなわなかったため、本年度はこの点も視野に入れて、引き続きアクティブ・ラーニングをテーマにして、外部講師を招へいして研鑽を深めることとする。

学部自己点検・評価委員会懇談会では、以下に示す各学科の活動方針・活動計画の実施状況を中心にして、各学科間での意見交換を行う。

2018 年度の各学科の FD 活動方針・活動計画は、以下の通りである。

英米学科

- 1) 学科が管理する LL 施設の有効利用ならびに今後の活用方法を検討する小委員会の検討を継続し、2019 年度以降の LL 施設の有効利用ならびに今後の活用方法についての方針を決定する。
- 2) 2017 年度に初めて行った学科内ミニ FD の回数を増やすことも含めて、学科内 FD 活動をさらに充実させる。
- 3) 長期の派遣留学生数の維持および更なる増加を図る方策の検討を継続する。
- 4) 2017 年度と同様、学科内に専門の小委員会を組織し、学科必修科目の内容および評価の標準化の努力を継続する。

スペイン・ラテンアメリカ学科、

- 1) 2018 年度には、新たに 2 名の教員を学科に迎える予定である。彼ら新任教員に対しては、日常的な交流を深めつつ、研究遂行に係る情報交換ならびに教育上の相談等、積極的に支援し関わっていく。
- 2) 学外の優れた研究者を招いて講演会を開催し、学科教員の研究水準の向上につなげる。
- 3) ラテンアメリカ研究センターとの連携をこれまで以上に強化し、学科教員のさらなる学際性・国際性の向上に努める。
- 4) 大学の世界展開力強化事業プログラム (LAP) を通じた上智大学との連携、教員の相互訪問による輔仁大学 (台湾) との交流を通じ、国内外のカトリック大学との教育・研究面での協力関係を一層強化していく。
- 5) 教育ならびに学科関連業務の遂行に不可欠な IT スキルを各自がこれまで以上に向上させていくため、教員間での相互支援を促進する。
- 6) 学科の教育指導冊子 *Un, dos, tres al español* を改定する。

- 7) 非常勤講師の先生方に対し、クォーター制実施に伴う科目運営方法変更の説明を継続的に行うとともに、クォーター制導入後の授業運営等に関する意見聴取を実施する。

フランス学科

- 1) 2017年度に引き続き、学科内において定期的にミーティングを開催し、クォーター制導入に伴い予想される環境の変化に適応したより良い授業づくりを目指す。
- 2) 履修ガイダンスや学び方講座の開催、オフィスアワーの設置、学科ウェブサイトの充実などを通じて学生の履修指導、留学支援、学習支援のためのシステム開発を継続しつつ、FDの一環としての広報活動にもつとめる。
- 3) 海外フィールドワーク、フランス語劇、各種フランス語スピーチコンテストへの参加などを通じた新しい教育法の開発を継続する。
- 4) フランス語教育の効果を測定し、その結果をさらに効果的な教育方法の探求に活かすため実用フランス語技能検定やTCFなどの外部語学試験の利用をうながす。
- 5) 各専攻のカリキュラムに適した教材研究を行う。
- 6) フランス語圏に関する専門的知識を有する専門家を招いて教員の研究支援に資する講演会を開催する。
- 7) 学科のFacebookの活躍や高等学校から依頼された模擬授業の積極的な受け入れで、各専攻の中味が外部からも分かるようにし、自己イメージを客観視できるようにする。

ドイツ学科

- 1) 今年度も、新カリキュラムと旧カリキュラムが並行することから、授業運営等が円滑に進むよう十分に留意する。
- 2) 国内・国外から講師を招き、言語教育あるいはドイツ語圏の文化・社会等をテーマとした講演会を開催することで、学科教員の研究・教育の資質向上を図る。
- 3) 学生の自律的学習能力の向上のために、どのような学習者支援が可能かを教員間で議論し、そこから導き出された方法を実践・省察する。それによって学習者のドイツ語能力の向上だけでなく、ドイツ文化や社会全般への深い理解を目指す。
- 4) 授業内容に関する報告・検討会を引き続き開催し、教員間の連携を強化する。昨年度と同様外国語教育センター所属L.I.教員とも密接に連携していく。
- 5) 学科独自のホームページの作成準備を進め、さらなる情報発信に努める。
- 6) 国際交流事業で招聘を予定しているドイツ人学生と本学学生との間の交流を促進し、ドイツ語学習に対するモチベーションを高める。
- 7) その他、例年行っている学習支援活動を継続し、より一層の教育環境の充実に尽力する。

アジア学科

- 1) 外国語科目と演習科目に重点をおいて、授業の振り返りを継続する。

- 2) 中国語科目における成績の客観的な可視化を継続して進める。
- 3) インドネシア語の教科書についてはさらなる改訂作業を進める。
- 4) 「海外フィールドワーク A/B」の準備を詰めるとともに、実施の状況を注視しつつ、実施後には次年度に向けた点検と評価を丁寧におこなう。
- 5) 効果的な学生指導ができるよう、学科教員間および学科教員と非常勤講師との緊密な連携を図る。
- 6) 学生の関心をより深め、広げるために、アジアに関するさまざまな分野の専門家を招聘して講演会を実施する。
- 7) インドネシア語学習の意欲を高め、能力を向上させる一助としてインドネシア語スピーチコンテストを実施する。
- 8) 中国・台湾およびインドネシアへの国費留学希望者に対する支援を継続する。
- 9) FA.com など在学生の課外活動への支援を継続するとともに、在学生の協力を得て初年次生の大学生活を支える体制を堅持する。